

1 概要

セーフコミュニティフェスタは、
2018年2月の国際認証取得から1年後の2019年の2月からセーフコミュニティ活動の発表の場として開催しており、2024年からは、まちづくりハーモニー賞等も併せ、市民部で担当している協働分野の表彰を合同で開催し、今回で6回目となる。

- ▶ 日 時 2025（令和7）年2月2日（日）
- ・展 示・体験（ロビー） 10:00～16:00
 - ・表彰式（多目的ホール） 13:30～15:00

- ▶ 場 所 中央公民館

▶ 参加者

市民、セーフコミュニティ推進協議会会員、
外傷サーベイランス委員会委員、分野別対策委員会委員、
セーフコミュニティ賞・まちづくりハーモニー賞受賞者・
男女共同参画推進事業者表彰受賞者及び関係者 等

▶ 目 的

- セーフコミュニティ賞・まちづくりハーモニー賞・男女共同参画推進事業者等の表彰、パネル展示等を通じ、地域づくりに係る市民の理解促進、ウェルビーイングなまちづくりの推進を図る。
- 市民活動団体、事業者、学校等を一堂に会して表彰することにより、一層の協働の輪を広げていく。

2 内 容

▶ 展示、体験(1階ロビー)

- セーフコミュニティ活動パネル展示
- ドライブシミュレーター
- V Rによる自転車危険体験
- 展示コーナー 岩瀬農業高校の交通安全パン展示、販売
 - ・消防本部による予防救急、火災予防
 - ・ユニバーサルデザイン
 - ・男女共同参画・人権啓発 等

あいおいニッセイ同和損保様の協力で実施



▶ 表彰式(多目的ホール) ※受賞団体、個人の一覧は次ページ以降に掲載

- セーフコミュニティ賞表彰 12団体、4 個人
 - まちづくりハーモニー賞表彰 13団体
 - 男女共同参画推進事業者表彰 6 団体
 - S Cパンフレット表紙デザイン受賞者表彰 3 個人
 - 自転車ヘルメット着用推進校表彰 2 校
- 各表彰から1団体ずつ活動発表をいただきます。

2024年の受賞者記念撮影 撮影は 受賞者の photocca 様



3 セーフコミュニティ賞受賞者（50音順）

受賞者名	主な活動内容
学校法人 郡山学院	・毎年40～50名の学生、教職員が防災士の資格を取得 ・学校周辺等のゴミ拾いや猪苗代湖のひし刈り活動
郡山市消防団喜久田地区隊	・地域の消火・水防・救助活動、夜間警戒
郡山地区交通安全協会小原田支部	・交通安全街頭啓発・通学路立哨活動、立看板やカーブミラーの点検清掃
郡山地方消防防災協会	・従業員等の自衛消防力育成のため消防操法大会を開催 ・老朽化した消火器の回収
相楽 行毅	・大槻小学校外周花壇づくりと除草及び清掃活動
静団地地区子ども見守り隊	・大成小学校児童の見守り活動
高橋 哲美	・行徳小学校児童の見守り活動
徳定町内会	・災害時の炊き出し、消火訓練等を実施する「徳定防災まつり」を開催
特定非営利活動法人しんせい	・障がい者等の家庭で育つ健常児のための学習支援や学校からの送迎 ・独居高齢者との交流活動
特定非営利活動法人ファミリーホームいぶき	・家庭の事情で親と離れる0～18歳のこどもたちの育成支援
富田交番連絡協議会	・富田交番を会場として、富田交番ふれあいフェアを開催
鳥畑 一光	・行徳小学校の児童の集団登校支援、声掛けや見守り活動 ・こども110番の家を20年継続
中野第二町会児童見守り隊	・中野第二町会区域内5箇所での見守り活動
鳴神育成会	・大成小学校正門前等での見守り活動
鳴神町内会見守り隊	・大成小学校正門前等での見守り活動
良田 金次郎	・安積第二小学校登校時の交差点での見守り活動 ・降雪時の通学路除雪作業

4 まちづくりハーモニー賞受賞者（50音順）

	受賞者名	主な活動内容
市民活動 実践部門	公益財団法人金森和心会 クローバー子供図書館	・1952（昭和27）年から続く私立図書館 ・地域とともに読書を通じてこどもの心を育む
	郡山市共同受注ネットワーク	・共同受注で福祉的就労の価値を高める活動
	郡山自主夜間中学	・様々な市民を受け入れる学びの場 ・義務教育の領域や、外国籍の方等に向けた日本語教育など
	神明下町内会	・防災のための地域連携、子ども食堂への支援
	にこっと・ねっとわ〜く実行委員会	・企業の社会貢献活動として、こどもの知育に効果的な塗り絵帳の作成、配布
	パソコン寺子屋安積野	・高齢者同士が交流し学びあうパソコンの勉強会
	ふくしまの子供達に夢と元気を与える会	・方言と体操、ショーでこどもを元気にするヒーロー「ダバイザー」
	舞木町まちづくり協議会	・JR舞木駅を基点とした魅力あるまちづくり ・舞木駅周辺的环境整備、舞木駅の桜ライトアップ
	横塚町会	・地域と親子で作るきれいな芳賀の里 ・こどもが作るごみ集積所ポスター、地域清掃活動「芳賀の里きれいにし隊」
市民活動 応援部門	一般社団法人BeAHERO（ビーアヒーロー）	・「ヒーロー」が子ども食堂の活動を応援
青少年・ 学校部門	福島県立あぶくま支援学校農園芸班・清掃班	・支援学校の学びを活かした地域貢献 ・緑ヶ丘地区での野菜の販売会、小学校の校舎外窓清掃や公園の除草作業
イベント 部門	ふくしまフードフェス実行委員会	・コラボメニューで福島の食文化を発信するイベントの企画・運営
	緑ヶ丘夏祭り実行委員会	・29回目を迎えた緑ヶ丘夏祭りの開催 ・緑ヶ丘イルミネーションプロジェクトの実施

5 男女共同参画推進事業者表彰受賞者（50音順）

受賞事業者名	主な取組・評価点
三英堂事務機株式会社	・ 直行直帰型営業やフリーアドレス導入等、制度・設備両面の改革による働き方の改革
三友電設株式会社	・ ハラスメント防止等、毎月テーマを変えた勉強会を開催し、意識の醸成や働きやすい職場を実現
株式会社 J T B 福島支店	・ 充実した資格取得支援や研修を活用した社員のスキルアップや新分野へのチャレンジの後押し
医療法人慈繁会附属土屋病院	・ ストレスチェック制度や専門家相談窓口の整備による職員のメンタルヘルス対策
スクーデリア株式会社	・ フレックスタイム制による柔軟な働き方の実現や外国人社員に対する多文化共生への取組
福島県商工信用組合	・ 女性管理職の積極登用や育児休業・育児短時間勤務の活用による女性が活躍しやすい職場づくり

6 セーフコミュニティ表紙デザイン受賞者

受賞者名	投票結果
角田 都美	最優秀賞
白土 広二郎	優秀賞
佐藤 なな	優秀賞

7 自転車ヘルメット着用推進校受賞者（50音順）

受賞者名	取組概要
福島県立安積高等学校	・ 令和6年度から自転車通学許可申請時のヘルメット購入確認の実施 ・ 1年生は9割以上がヘルメットを購入、着用率が飛躍的に向上
福島県立郡山東高等学校	・ 放送部が郡山警察署と連携し着用啓発、通学生への着用の呼びかけ ・ 学生による着用啓発広報活動等により昨年度と比較して着用率は約5倍に上昇